

「井之川中学校の諸田鍬踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	徳之島町立井之川中学校	
2. 学年・人数	1～3年・26人	
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和7年10月15日(水)14:25～14:55・井之川中学校体育館 令和7年10月30日(木)10:40～11:00・井之川中学校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和7年10月31日(金)10:05～10:15・井之川中学校体育館	
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	(1) 名 称 諸田鍬踊り（しょだくわおどり） (2) 由 来 大正時代の末期から昭和の初期に商人が、ある集落で習い、諸田の青年団に教え広めたところ、定着した。 (3) 構成等 男性が外側、女性が内側で円を作り、男女が逆向きに進む。両手に持った鍬とカマを合わせたり鍬を打ち合わせたりして音を鳴らし、円の中央では島太鼓チヂンを打つ。曲のテンポはだんだん速くなる。	
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	郷土に伝わる踊りを自ら踊ることで伝統を守り、継承していくことを目的とし、文化祭で生徒と職員が踊っている。保存会はないが、鍬やカマ等は区長が保管している。文化祭では、地域から借用した衣装を身に付け、披露している。	
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）		
	文化祭りハーサルで衣装合わせ	文化祭で披露
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	【生徒】 ・ 本番の地域の方々の前でしっかり踊ることができてうれしかった。 【保護者・地域】 ・ 伝統を引き継いでいることがすばらしい。 ・ 初めて鍬踊りを見た。広い場所で大きく踊るところも見てみたい。	